

観光地宇治に対する住民の意見

平成22年9月1日
2010年度 社団法人 宇治青年会議所
理事長 巴山 証人
担当副理事長 若林 哲
まちづくり委員会委員長 佐野 洋一

はじめに

年間500万人以上の観光客が訪れ、世界的にも有名な観光地「宇治」。しかしながら、我々宇治地域で暮らす地域住民は、観光スポットを訪れる機会が少なく観光地としての宇治の良さや魅力を、観光に携わらない方々は、あまり知らないと考えました。そこで、地域住民として宇治の観光地を今一度散策し観光地「宇治」の実状を把握する機会をもちたいと考えました。

平成22年6月20日、宇治青年会議所の呼びかけで、宇治市民及び近隣地域の住民60名で観光地宇治を観光客の立場に立って実際に歩いて観光する形式で視察を行いました。ご参加頂いた地域住民の方々には、あらためて宇治の魅力に気付いて頂き、知らなかった観光スポットを学んで頂くことができました。

その中で、観光地としての利便性や活気、まちの一体感などについて参加者の意見が多数出て参りましたので「観光地宇治に対する住民の意見」として本書にまとめさせていただきました。

観光地宇治の更なる発展のためにも、この住民の意見をご査収頂きたく存じます。

地域住民の意見まとめ

① 行政関連に対しての意見

「宇治観光案内所 宿木」

住民意見 (現状)

- ・ 駅前で立地がいいにも関わらず、シンプルすぎて観光地のお土産屋という雰囲気がない。
- ・ 看板も小さく、活気も感じない。

対応策

- ・ 宇治らしさを感じられるBGMを流す。呼び込みに力を入れてアピールする。
- ・ 宇治らしい店舗に改装する。
- ・ 地元の特産品を使用した新商品を開発し、ここだけでしか買えないオリジナルの商品を販売する。

「紫式部像・夢浮橋古跡」

現状

- ・ 宇治橋の背景と合っていて、とても美しい風景だった。
- ・ 観光案内人の説明がないと何か分かりにくい。

対応策

- ・ くわしい説明看板の設置を望む。

「対鳳庵」

現状

- ・ 立派な建物ではあるが、そのため敷居が高い印象がある。
- ・ 利用方法がわかりにくく、利用者数を損しているのでは。

対応策

- ・ 看板の設置などの方法で、「素晴らしい茶室でお茶を頂けます。」や「500円でお茶を体験できます」ということを、もっとアピールしたらどうか。

「宇治市観光センター」

現状

- ・ 観光案内を目的としているのならば、観光客にわかりやすく、宇治に来て最初に立ち寄れる場所にあるべきである。
- ・ 現状は、建物は目立たず、立地も観光客にとってわかりにくい場所にあり、十分に目的を果たしていないように思える。

対応策

- ・ もっと観光客にわかりやすいように工夫する。
- ・ 場合によれば宇治橋周辺の立地のいい場所に移転する。

「宇治橋通り商店街」

現状

- ・ 自動車の交通量が多く、歩いていて危険を感じることもあった。

対応策

- ・ 道路整備、交通規制が有効。

「平等院表参道」

現状

- ・落ち着いた雰囲気、観光地宇治を表現できている場所で良かった。
- ・自動車が通行するので、安全面に心配がある。

対応策

- ・土、日に交通規制等により車両の進入を禁止する。

「源氏物語ミュージアム」

現状

- ・住宅街にポツンとあるようで、場所が分かりにくかった。
- ・入場料の割には見学する対象が少ない。
- ・1回来れば十分で、もう一度来たいと思える施設ではない。

対応策

- ・子どもから大人までが楽しめるアトラクションやゲームを開発し、楽しみながら源氏物語を勉強できるような仕掛けを作ってみてはどうか。

「総角・与謝野晶子歌碑」

現状

- ・存在自体を知らなかった。
- ・場所がわかりにくく見落とししてしまいそう。

対応策

- ・もっとPRする必要がある。

「宇治朝霧通り・宇治十帖モニュメント」

現状

- ・車の往来が多く歩いていて危険を感じた。
- ・歴史を感じられるスポットだった。

対応策

- ・歩行者の安全確保のため、道路の拡張や歩道の整備をする。
- ・土、日曜日の交通規制を行う。

「宇治川先陣の碑・十三重石塔・中の島公園」

現状

- ・歴史的な石碑や石塔であり素晴らしいが、説明を聞かないと何かわからなかった。
- ・雨宿りできるところがなくて困った。（視察当日に急な降雨があった。）

対応策

- ・ゲリラ豪雨にみまわれることが増えてきているので、中の島公園内に、雨宿りができる場所を作り、その中の壁に石碑や石塔の説明を表示したらいい。

② 民間関連に対しての意見

「JR宇治駅前」

現状

- ・宇治の最大の玄関口であるにも関わらず、観光地宇治に来た感じがしない。
- ・「ようこそ宇治へ」というような看板や、宇治らしい店舗が少ない。

対応策

- ・駅前にお茶の試飲コーナーを設置し、駅を降りたらまずお茶の香りをさせる。
- ・鳳凰のモニュメント等により一目で宇治らしさをイメージさせるものを配置する。
- ・JR宇治駅を降りたら、まず宇治に来たという感じを持って頂く仕掛けが必要。
- ・駅前周辺に観光客向けの店舗を誘致しもっと賑わいをもたす。

「平等院表参道」

現状

- ・落ち着いた雰囲気、観光地宇治を表現できている場所で良かった。
- ・少し店舗の業種が偏り過ぎているのではないか。

対応策

- ・お茶以外の他業種店舗を誘致し、新たな名物を作り出す。

「宇治橋通り商店街」

現状

- ・視察日時が、日曜日のAM9：00過ぎであるのに、ほとんどの店が閉まっている。
- ・雰囲気も古臭く、観光地宇治を感じにくい。
- ・観光地の商店街として、観光客を積極的に歓迎する気がないようにも感じる。

対応策

- ・商店街全体のイメージと各店舗の意思の統一が必要不可欠である。
- ・各店舗の外観を統一していくことで、宇治らしさを感じさせ観光客が楽しく安全に歩きたいと思える状況と雰囲気を作り上げていく必要がある。
- ・営業時間の統一も効果的である。

「平等院」

現状

- ・観光客も多く賑わいがあり、また歴史を感じられる建物が素晴らしい。
- ・さすがは世界遺産に登録されている施設であった。
- ・強いていうのであれば、駐車場のある入口がメインになっているように思える。

対応策

- ・平等院表参道への誘導に工夫があればよりいい。

「宇治上神社・宇治神社・その周辺」

現状

- ・しずかな所で、心が落ち着く素晴らしい神社でとても良かった。
- ・神社前の道で、駐車場がないにも関わらず、通行してくる車が多く歩きにくかった。

対応策

- ・そこで、自動車の進入を規制し、観光客が安心して観光できるようにする。

「京阪宇治駅前」

現状

- ・一言で言うとさびれている。
- ・観光客向けの店が少なく空き店舗もあり、観光地宇治に来た感じがしない。
- ・暗くさみしい雰囲気駅の印象である。
- ・子供連れの方が京阪宇治駅にトイレを借りに行かれた時、通常であれば入場券の購入が必要ですが、無料で入場させトイレを貸してくれる親切な駅であった。

対応策

- ・駅前を観光地であると感じられる雰囲気作り、例えば、「ようこそ宇治へ」という看板を設置する。
- ・お土産屋、宇治茶の試飲コーナーを設ける。
- ・駅を明るく見せる照明やBGMなどを工夫する。
- ・調査時には空店舗があり、より一層さびれ感を出していたので、空いたままの場合であっても中が見えないように観光用ポスターを張るなどして空店舗であることを感じさせない工夫が必要。

「宇治朝霧通り店舗」

現状

- ・個々の店舗の雰囲気は観光地らしさがある。
- ・全体的に店舗が少なく活気がないように感じた。

対応策

- ・全体的な雰囲気統一を行い、観光客がもっと楽しみながら散策できる状況を作る。

おわりに

観光地「宇治」を観光客の立場にたって観光してみることで、世界遺産の平等院や宇治上神社など、どこにも負けない素晴らしい宝をもっていることを再認識し、誇りを感じる事ができたとの感想をご参加頂いた地域住民の方から頂きました。

しかしながら、宇治を観光地としてみたとき、それぞれの観光スポットが孤立してしまっており、観光地としての全体の統一感を感じる事ができないという声が多く聞かれました。

それは、宇治市をはじめとする公の組織が観光に力を入れられ、様々な観光スポットを整備されている中において、それだけになってしまい、民間と十分な連携が取れていないことが原因であるのではとの意見がありました。今回頂いた意見やアイデアにつきましても民間の役割の部分であるものも含まれておりますので、行政だけで全てを解決できるものではないと考えます。

我々にとっても、来られた観光客にどうやって楽しみながらお金を使ってもらおうようにするのか、また、どうやって地元企業や店舗が潤うようにリピーターを増やすのかを民間の立場で真剣に考え、取り組まなければ今後の観光地「宇治」の発展は難しいと感じさせられた事業でありました。

また一つのアイデアとして、レンタル自転車の採用の提案を頂きました。宇治の交通の利便性を考慮すると、レンタル自転車は効果的で、JR宇治駅、京阪宇治駅、様々な駐車場を基地とし、どこの基地でも乗り捨てが可能であれば、観光客の立場からみると大変魅力的であり、新たな観光収入にも繋がるのではとのことでした。

今後の展開として、太閤堤を含めた「宇治茶と歴史・文化の香るまちづくり構想」を策定され、取り組まれておりますが、地域住民の要望で最も多かったことが、官民一体となり、宇治全体で観光客を迎える体制を整えたまちづくりに力を入れて頂きたいということでした。

行政と民間でそれぞれ役割があるとは存じますが、それぞれがそれぞれのことをするだけでなく、協力体制を構築し、観光地宇治の方向性を共有することが、今後の観光地宇治の更なる発展に繋がると考えます。当然のことながら我々宇治青年会議所も微力ながら観光地宇治の更なる発展のため率先して尽力させて頂く所存です。

以上、宇治市民及び近隣地域の住民において、観光地「宇治」を観光客の立場に立って観光することで、感じたことや気付いたことを「観光地宇治に対する住民の意見」としてまとめさせて頂きました。

本書の住民の意見が、観光地「宇治」の今後の発展に繋がれば幸いに存じます。